

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
心理学研究法		選択	2	2.3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
前川 真奈美	B304	manami.maekawa	月曜日 10:40~12:40		
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt; 心理学とは、人間の行動とその背後にある心理過程を科学的な方法で理解しようとする学問である。そのため実証的・科学的な研究が重視される。本講義では、心理学研究における実証的な研究方法の重要性と、様々な心理学研究法の特徴・長所・短所を理解することを目的とする。そのうえで、自分の知りたいことや明らかにしたいことに沿って適切に研究を立案・実施し、その研究成果をわかりやすく表現する力を身につけることを目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt; 本講義ではまず、心理学が「科学的」であるためにどのような研究法が開発され、それらがどのように実践されてきたのかを解説する。各研究法の特徴を理解したのちに、グループごとに調査法による研究を立案・実施し、その成果を発表することで、適切な知識と技術の定着を促す。</p>				
学習上の助言	<p>講義内容に関する質問は、オフィスアワーの他に、講義中およびリアクションシートでも受け付ける。積極的に活用して理解を深めてほしい。</p> <p>その他、「備考」欄も必ず確認すること。</p>				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配付する。				
参考書	<p>心理学研究法 補訂版/編:高野陽太郎・岡隆/有斐閣/2017年                  質問紙デザイン技法 第2版/著:鈴木淳子/ナカニシヤ出版/2016年</p>				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	心理学研究の目的・意義、各種研究法の基礎知識について理解し、説明できる。			HSU(2)、WP(5)	
②	心理学の研究計画を立てることができる。			HSU(2)、WP(5)	
③	実施した研究について、研究分野の慣例に従った適切な報告ができる。			HSU(2)、WP(5)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション: 心理学研究における「科学性」と「実証性」について学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	1	
2	心理学研究の基礎知識: 相関関係と因果関係、観察と実験、独立変数、従属変数、余剰変数について学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	2	
3	研究法 1: 実験法について学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	2	
4	研究法 2: 調査法について学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	2	
5	研究法 3: 観察法、面接法について学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	2	
6	人間を対象とする測定における諸問題について学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	2	
7	研究計画の立案 1: 先行研究の探し方について学ぶ。 *インターネットに接続可能な媒体(ノートパソコン、タブレットなど)を持参すること。	講義 グループワーク	次回に向けて、関心のある研究テーマの先行研究の内容(特に目的、方法、結果)をまとめる。	5	
8	研究計画の立案 2: 具体的な研究目的、方法、データの処理方法について検討する。	グループワーク	次回に向けて、中間発表の発表スライドを作成する。	6	
9	中間発表: 研究計画を発表する。 *発表スライドを保存した USB 等を持参すること。	プレゼンテーション	次回に向けて、研究実施に必要なものを整理する。	6	
10	研究実施の準備: 質問紙や調査票を作成する。 *ノートパソコン(事前に充電したもの)を持参すること。	グループワーク	次回に向けて、調査研究を実施しデータを集める。	6	

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

11	立案した研究の実施 1:集めたデータを整理する。 *ノートパソコン(事前に充電したもの)を持参すること。 <u>Excelのインストール</u> を済ませておくこと。	グループワーク	講義後も引き続き、集めたデータの整理・分析と、研究発表やレポート作成に必要な情報を集めて整理する。	6
12	立案した研究の実施 2:集めたデータを分析する。 *ノートパソコン(事前に充電したもの)を持参すること。 <u>Excelのインストール</u> を済ませておくこと。	グループワーク		6
13	研究発表の準備:研究発表に向けて準備する。 *ノートパソコン(事前に充電したもの)を持参すること。 <u>PowerPointのインストール</u> を済ませておくこと。	グループワーク	次回に向けて、発表スライドの作成、発表練習を行う。	6
14	研究発表:研究成果を発表する。 *発表スライドを保存した USB 等を持参すること。	プレゼンテーション	講義後に、研究発表の質疑応答も踏まえてレポート作成の準備を進める。	6
15	研究倫理について学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	2
試	レポート試験 達成度評価・評価のポイントを参照。			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	50	30	0	20	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	10	10	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	15	10	0	5	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	10	10	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5
	問題を発見・解決する力	0	15	0	0	5	20

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法	
試験	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①	第 14 回の研究発表を踏まえて、研究成果をまとめたレポートを作成する。 体裁、内容、表現力等を評価する。	Teams を利用して、総評や個別のフィードバックを行う。	
	②			✓
	③			✓
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①	第 9 回に研究計画の中間発表のプレゼンテーション、第 14 回に研究発表のプレゼンテーションを行う。 その内容、技術、質疑応答の対応を評価する。(中間発表は 10 点満点、研究発表は 20 点満点)	講義内に口頭で(あるいは Teams を利用して)総評を行う。	
	②			✓
	③			✓
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	講義中の発言や、グループワークにおける取組みの態度や意欲を評価する。	講義内に口頭で(あるいは Teams を利用して)総評を行う。	
	②			✓
	③			✓
	④			
	⑤			
	⑥			

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

備 考

- \* 大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。
- \* 今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によってシラバスの変更が行われることがある。
- \* 本講義は面接授業だが、**毎回、課題提出等には Teams を利用**する。スムーズに使用できるように練習しておくこと。
- \* **「心理学基礎実験」、「心理データ解析」、「心理データ解析Ⅱ」を履修中、あるいは単位取得済み**であることが望ましい。そうでない場合は事前に教員に相談すること。
- \* 統計的知識やデータ処理の方法(主に平均値・標準偏差の算出、相関分析、 $t$  検定、分散分析)、心理学分野の基本的なレポートの書き方、Excel や PowerPoint の使い方について、不足分の知識や技能を適宜補いながら受講すること。
- \* 「卒業研究」の履修を希望する学生の受講が望ましいが、そうでなくても研究意欲の高い学生であれば受講を歓迎する。
- \* 第 7 回以降は、講義時間外に調べものをしたり、グループで話し合っって作業を進めたり、発表用の資料を作成したりする時間がかかなり多くなる。それを理解したうえで受講すること。

**教員の実務経験:** 公認心理師資格を有し、2 年間の現場経験を有する。

**実践的授業の内容:** 実際に自分たちで収集したデータを用いて解析を行うことで、実用的な知識・技術の習得を促す。